

【コープ商品 プラ削減の取り組み】

人気の野菜果実飲料2商品を紙パックへ切り替え
～年間約34.2トンのプラスチック使用量を削減～

日本生活協同組合連合会

日本生活協同組合連合会（略称：日本生協連、代表理事会長：土屋敏夫）は、コープ商品のプラスチック削減の取り組みの一環として、人気の野菜果実飲料「CO・OP ミックスキャロット 930g」および「CO・OP 彩果菜園 930g」の包材をペットボトルから紙パックに変更し、「CO・OP ミックスキャロット 1000ml」「CO・OP 彩果菜園フルーティーアップル（一食分の野菜） 1000ml」として3月より順次展開します。



日本生協連は、2021年5月に「コープ商品の2030年目標[※]」を設定し、2030年までに容器包材のプラスチックを2016年対比25%削減すること、そして、再生・植物由来素材プラスチックの使用率を合計で50%以上とすることを掲げています。この度の人気の野菜果実飲料2商品への紙パック採用は、コープ商品のプラスチック削減の取り組みを加速するものです。

※ご参考：2021年5月19日発表ニュースリリース

日本生協連、「生協の2030環境・サステナビリティ政策」策定に合わせ「コープ商品の2030年目標」を設定

https://jccu.coop/info/newsrelease/2021/20210519_02.html

商品の特長

- 人気の野菜果実飲料2商品の容器を紙パックに変更することでプラスチックを約7割[※]削減。
※量目を変更したため、削減率は量目換算して比較しています。「CO・OP ミックスキャロット 1000ml」：削減率72.99%、「CO・OP 彩果菜園フルーティーアップル（一食分の野菜） 1000ml」：削減率73.20%
- 年間のプラ削減量は約34トン（「ミックスキャロット」：約27トン、「彩果菜園」：約7トン）[※]に。
※「CO・OP ミックスキャロット 1000ml」：年間販売実績910,096本、ペットボトル1本あたり29.4g削減で計算。「CO・OP 彩果菜園フルーティーアップル（一食分の野菜） 1000ml」：年間販売実績248,082本、ペットボトル1本あたり29.5g削減で計算。／期間：2021年1月21日～2022年1月20日
- 印字スペースが従来のハーフラベルから紙パック全体になり、様々な内容をご紹介できるようになりました。新しいパッケージでは、商品を活用したアレンジレシピや、ご家庭での会話のきっかけになるような商品にまつわるストーリーを記載しています。



日本生協連は、今後も環境に配慮したコープ商品の開発に積極的に取り組み、環境負荷低減に努めてまいります。

＜お問い合わせ先＞
日本生協連広報部
TEL：03-5778-8106

<参考資料>

● 商品概要

<p>商品名/ 商品説明</p>	 <p>「CO・OP ミックスキャロット」 国産のにんじんを60%配合し、子どもに野菜（にんじん）をとらせたい親の想いに応えた生協の人気ナンバーワン野菜果実飲料です。</p>	 <p>「CO・OP 彩果菜園 フルーティーアップル（一食分の野菜）」 コップ1杯（200ml）あたり一食分以上の野菜・食物繊維・ビタミンCを摂ることができ、女性に人気の商品です。</p>
<p>発売日</p>	<p>3月1日より順次</p>	<p>3月1日より順次</p>
<p>内容量</p>	<p>1000ml</p>	<p>1000ml</p>
<p>賞味期限</p>	<p>270日</p>	<p>270日</p>
<p>参考価格</p>	<p>321円（税込）</p>	<p>267円（税込）</p>

【各商品共通】

販売方法：全国の生協の宅配および店舗

※取り扱いの有無、次期、価格は各生協によって異なります。

☆コープ商品サイトはこちら <https://goods.jccu.coop/>